

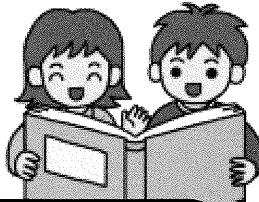
## 「学校司書との協働で行う授業作り」

司書教諭 野原隆弘  
学校司書 田沼恵美子

### 学校図書館に関する学習指導要領の記述

(11) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童又は生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること

各担任とどう協働すると効果的なのか



「学校司書・司書教諭の役割」  
「協働でねらうこと」

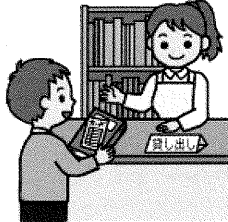
- ・担任や授業担の意図を十分くみ取る
- ・学校司書は授業のねらいに添って肉付けを提案する
- ・児童・生徒の欲している情報をくみ取る
- ・本や情報原から学ぶものを心情豊かに育てる手助けをする

・学校図書館が好き  
→ 将来の公共図書館等への利用準備となる

### 学校図書館の運営計画

- 4月～5月 年間活動計画の立案
- 6月～7月 お便り発行貸し出し
- 8月 おうち貸し出し(夏)
- 9月～11月 総合学習協働
- 11月 図鑑で調べよう
- 12月～3月 おうち貸し出し(冬)

\* 小学部は絵本など自由に貸し



打ち合わせ

- ・単元の目標設定
- ・見学場所等の確認

授業時数から指導計画を聞く

### 授業の実際

①学習計画を話し合う

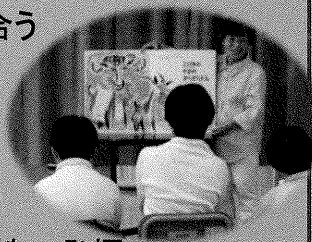
導入段階

②学校司書の専門性の発揮

グループと展開

③授業の実際とまとめ

司書部会



### 協働でここが変わる

- ・学習ポイントの押さえ
- ・本に対する専門性発揮
- ・学習のまとめ方を提案
- ・教員だけの一方通行ではなく、図鑑等から情報を得てまとめる方法伝授
- ・協働授業反省が次への学習ステップとなる
- ・授業自体に柔軟性が表れる(児童・生徒から好感を持たれている)

学校図書館が新たな学びの場となる

学習内容の深まり

授業

- ・①どの部分の分担か
- ・②次回へ繋げる方向性
- ・③ねらいをしぼりじっくり
- ・④十分な授業時間確保が望ましいが
- ・情報交換

まとめ

- ・授業評価
- ・友達との発表会